

# 横浜防災シンポジウム



いつまで  
「雑魚寝」避難所？

参加費  
無料

7/14 (日) 13:30~  
16:00頃まで  
かながわ県民センター  
2階ホール 横浜駅西口徒歩5分

能登半島地震の経験を  
横浜でどう活かすか (仮)

講師：高林秀明 熊本学園大教授

プログラム：①講演 ②市防災施策の現状と市民  
要望・能登ボランティア報告 ③会場からのQ&A

主催：日本共産党横浜市議団

# 防災アンケートの声

日本共産党横浜市議団の防災アンケートに寄せられた声（一部）紹介します。

横浜市の防災施策などへのご質問・ご要望は7月14日のシンポジウムでご紹介等できるよう準備をしています。

- ・自家用車内で寝泊まりする場合のサポートプランがほしい。
- ・トイレと水の確保を最優先して欲しいです。
- ・保育園や学童に迎えに行けない時の対応はどうなる？
- ・小学校が避難所になっているが、どうなったら避難できるのか具体的に教えてほしい。徒歩で30分近くかかるので、もっと近くに設定してほしい。
- ・避難所の映像を見ていると何十年経っても何も変わっていません。非常時とはいえ、人間として最低限の尊厳は守りたい
- ・防災対策のひとつに放射能対策を加えてほしい
- ・横浜市の給食センター設置の話も聞きますが、地震発生時には道路寸断等は免れません。一箇所集中の給食配送より、各学校地域での給食提供の方が安心安全です。
- ・在宅避難者のことを考えた対策を。
- ・月に一度 防災減災デーを決めて市民の意識改革を。

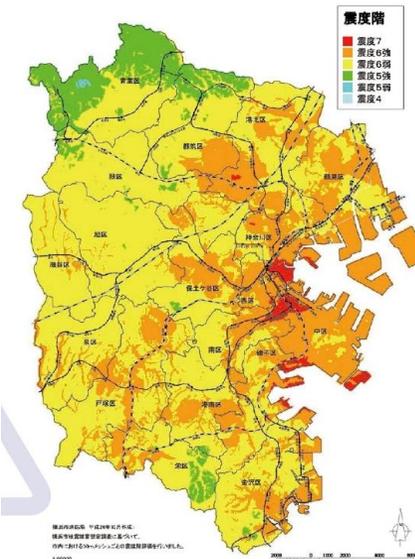


こんにちは 日本共産党横浜市議団です 2024年6月特別号  
発行：日本共産党横浜市議団 横浜市中区本町6-50-10 TEL045-671-3032

## もし大地震がきたら… 甚大な被害が想定されます

被害想定(元禄型)	
帰宅困難者	45万5000人(平日正午)
避難者	発災後57万7000人・ 28日後避難場所生活者21万8000人
建物	全壊3万4669棟・半壊11万3719棟
火災	7万7700棟焼失(冬18時)
人	死者3260人・負傷者2万1700人
水道	39万9000世帯断水(1日後)
下水	7万2900世帯機能支障(1日後)
電気	26万6000世帯停電(1日後)
都市ガス	116万世帯供給停止(直後)
緊急輸送路	183区で支障
鉄道	274か所で被害・28区間浸水
経済直接被害	11.7兆円

元禄型関東地震被害想定 地震マップ:市全域



図・数値出典：横浜市防災計画より  
写真 能登半島地震の被災地 しんぶん赤旗より

## 7/17シンポ 講師の紹介 高林秀明 熊本学園大学教授



【プロフィール】専門は地域福祉論。阪神・淡路大震災時に社協職員として仮設住宅の聞き取り調査を行い仮設住宅のあり方や復興について研究。熊本地震では自身も被災し避難所運営のリーダーとして携わる。能登半島地震では発災数日後に被災地に入りボランティア活動や現地調査、仮設住宅建設方針への提言など行う。